

カトリック河原町教会だより

2022年11・12月

教皇フランシスコ 2022年10月23日「お告げの祈り」でのことば(抜粋)

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

今日の典礼の福音箇所は、二人の主人公、「ファリサイ派の人と徴税人」が出てくるたとえです(ルカ 18・9—14 参照)。神に向かって上るために、わたしたちは自らのうちで下らなければなりません。わたしたちの弱さや内面の貧しさに対する正直な見方を与えてくれるこのころの誠実さや謙虚さを育んでいかねばなりません。実際、謙虚になれば、うそ偽りのない、ありのままの私たち自身を神に差し出すことができるのです。わたしたちのこころを重くさせる欠点や傷や罪や苦悩なく、神のいつくしみを求めることができるのです。そうして、神はわたしたちを回復させ、癒し、立ち上がらせてくださいます。

「わたしはこの徴税人のようなものでもない」(同 11 節参照)。これは霊的に傲慢な人がすることです。「けれども、パパ様、あなたはなぜわたしたちに霊的傲慢さについて話されるのですか」と思われるでしょう。それは、わたしたちは皆、このような罠に陥る危険があるからです。この罠は、ある人を正しいと信じさせたり、またある人を裁いたりさせるのです。

兄弟姉妹の皆さん、このファリサイ派の人と徴税人のたとえは、わたしたちに深く関係してきます。この二人のことを考えるとき、わたしたち自身の姿を見ましょう。わたしたちの中にもファリサイ派の人のように、自分は正しい人間だという(同 9 節参照)、確信があるかどうか確かめましょう。そのような確信は、他者を見下すことにつながります。例えば次のような時です。褒め言葉を求めたり、自分の価値や働きぶりを教え上げたりするとき、自分がどうあるかではなく、どう見えるかを心配するとき、自己中心主義と自己顕示欲の罠にはまってしまうとき、などです。権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ(ルカ 1・52 参照)てくださいますように。



2022 Christmas message

「聖霊があなたに降り、いと高き方があなたを包む。だから、生まれる子は聖なるもの、神の子と呼ばれる。」
マリアは言った。「わたしは主のはしためです。御言葉どおり、この身になりますように。」

(ルカ 1 :35, 38)

天使ガブリエルから救い主の母になる使命を受けたマリア様から3つのことを学ぶことができます。

一つ目は、主の絶え間ない臨在に満たされる人の生活は以前と同じように平凡であり続けるということです。聖霊がマリアに宿って以来、彼女は主の現存に満たされていましたが、家族や隣人から見て、マリアには何の特徴も見られず、彼女の生活環境は依然と全く同じようなものでした。メシアの母となったからといって、マリアの生活はより豊かになったり、マリアは特別に霊的な力をもったりしませんでした。また、彼女は地元の他の女性たちと同じように平凡な生活を最後まで歩まなければなりませんでしたが、それに対して何の不满も持ちませんでした。マリアは主の御旨に対して「はい」と答えたのは自分の名誉や利益のためではなく、主の婢女になるためでした。主がともにいることはマリアの最高の喜びでした。救い主の友になる恵みをいただいたことはあなたにとって最高の喜びなのではないでしょうか。

二つ目は、主の救いの使命に協力する際、常にリスクが伴うということです。救い主の母となることはどのユダヤ人女性にとっても最高の恵みでしたが、しかし、自分が結婚する前に妊娠していることを人々に知られたら、律法にしたがって石で打ち殺されるという災厄の結果を生み出すものでもありました。マリアはこのことを知っていましたが、死の恐れを感じながらも天使の言葉を受け入れることにしました。良い結果を得るには、犠牲を払わなければならないというのは常識であり自然の法則です。マリアは人類の救いのため、また、自分自身の救いのためにご自分の生涯を主に捧げることにしました。このマリアは全てのキリスト者の模範です。イエスキリストへの信仰を告白し、洗礼を受けた全ての人々はマリア様のように、主の救いの協力者になれるようにめされています。



三つ目は、主に揺るぎない信仰を置く人には、人生の試練や苦難に耐えることができるということです。主の母になる使命を受け入れた場合、死の危険性があるということを知っていたマリアはどのようにして天使の言葉を受け入れることが出来たのでしょうか。それは、救い主の母となる恵みを下さった主御自身が、主の御ところに従う過程において生じる苦難に耐える力も与えて下さるといふ深い信仰があったからだろうと思います。時には、主の御旨は私たちにとって危険なものや理解しがたいもの

に見えるかもしれませんが、主に信頼を置く人にとって、マリアのように、主の御計画に対して「はい」と答えることが出来るでしょう。

私たちの母であり、模範であるマリア様のようなところを私たちにも主が与えてくださいますように。



京都南部地区合同堅信式

11月13日 14:00 から京都南部地区合同堅信式が大塚司教様の司式により執り行われ 22 名(河原町は 5 名)が堅信の秘跡の恵みを受け喜びに包まれました。



七五三のお祝い

11月13日 10:30 ミサの中で菅原神父様から七五三の祝福を受けおメダイと千歳飴が手渡されました。



河原町教会あれこれ



京都モダン建築祭



カリタスジャパン集会(成井司教様他)



聖母マリア像

2022年12月～2023年2月までの主な予定(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行事予定
12	4	日	[待降節第2主日] 宣教地召命促進の日(献金) 菅原神父霊名<アンノ 12/5>のお祝い 10:30 ミサ中
	8	木	無原罪の聖マリア
	11	日	[待降節第3主日]
	18	日	[待降節第4主日]
	24	土	主の降誕(夜半)ミサ 18:30・21:00
	25	日	主の降誕(夜半)ミサ 7:00・10:30・13:00(英語) 瀧野神父霊名<ステファノ 12/26>のお祝い 7:00 ミサ
30	金	聖家族	
1	1	日	神の母聖マリア(元日ミサ)7:00・10:30 世界平和の日
	8	日	主の公現
	9	月	主の洗礼
	15	日	[年間第2主日]
	18	水	キリスト教一致祈祷週間(～25日)
2	22	日	[年間第3主日](神のことばの主日) 河原町教会総会 10:30 ミサ後
	29	日	[年間第4主日] 世界子ども助け合いの日(献金)
	2	木	主の奉献
	3	金	福者ユスト高山右近殉教者
	5	日	[年間第5主日] 日本 26 聖人殉教者
2	11	土	世界病者の日
	12	日	[年間第6主日]
	19	日	[年間第7主日]
	22	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎)ミサ 7:00・18:30 四旬節愛の献金(四旬節中)
	26	日	[四旬節第1主日] 洗礼志願式 10:30 ミサ中

お知らせ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2022.10.15 アンドレア 鈴木 文士

2022.10.23 ノア エスグラ・イッセイ・イバネーズ

2022.10.30 シルベストロ 西村 颯汰

◆転入 ようこそ河原町教会へ

2022.10.14 ビンセンシオ・パウロ・マリ 古谷 廣志

2022.10.23 マリアエリカ 西村 絵里加

◆転出 どうぞお元気で

2022. 11.15 アシジのフランシスコ 田中 軍治 クララ 田中 君江

◆帰天 主よ、永遠の安息をお与えください

2022. 9.10 ヨゼフ 鶴谷 幸治 2022. 9.27 ミカエル 田中 宏一

2022.10.18 マリア 甲斐 竹子 2022. 11.1 マリア・クララ 吉田 経

2022.11.13 十字架のヨハネ 岸 要

◆婚姻 おめでとうございます

2022.10.15 アンドレア 栗山 透 カタリナ 松浦 歌織



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

最新の情報はウェブサイトでご確認下さい。

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教の輪郭」

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「キリスト教とは何か」

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「カトリック教会の教え」12月まで

「イエス・キリストの言葉」1月より

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

「カトリック教会のカテキズム要約」の通読

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を学ぶ会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

みんなの集い

土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方向け」

は事務室か

rakuto.nvumon.class@gmail.com まで

カトリック河原町教会だより 2022.11・12 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachiKyoto>